

平成 29 年度 公社事業の概要（当初予算に向けて）

○ 平成 29 年度事業運営について

当公社は地方道路公社法に基づき、県内において有料道路 4 路線（一般有料道路 3 路線、一般自動車道 1 路線）と 19 か所の駐車場の管理運営及びそれに関連する事業を行います。

当公社では、平成 23 年度に経営安定化資金を借入し、既存の債務を含めて年間返済額の平準化を図りましたが、平成 29 年度から平成 33 年度にかけては、残債の償還ピークを迎えます。

償還金額は、毎年度 10 億円前後にも及び、収入見込みの約 40%となることから、その間は支出額が収入額を上回る予算編成を組むこととなります。

現在の見込みでは、手持ち資金である現預金残高は、平成 29 年度期首では 13 億 3 千万円を有します。これを収支差額に充当することに伴い、平成 33 年度末には数億円まで圧縮されますが、平成 34 年度以降は回復する予測を立てております。

このような厳しい経営環境を迎える中、今後の当公社のあり方を見据えて、平成 29 年 3 月に「中期経営計画」を策定しました。

平成 29 年度は、「中期経営計画」（5 年間）の初年度となりますので、役職員一体となって達成に向けて着実に取り組みます。

1 有料道路事業

県内 4 路線の有料道路について、利用者に安全・安心に利用していただくため、老朽化したポンプ排水設備の更新工事（真鶴道路）や橋梁伸縮装置（三浦縦貫道路）の補修工事、災害・緊急時対策の強化として遠隔閉鎖システム工事（真鶴道路）等を実施します。

また、道路を快適に利用していただくため、案内標識等の安全施設等取替工事（真鶴道路）や舗装補修工事（本町山中有料道路）等を実施します。

さらに、平成 24 年 12 月の笹子トンネル天井板落下事故を発端として平成 26 年 7 月に法定義務化された道路施設の定期点検を、平成 29 年度は橋梁点検（有料道路 4 路線）と標識点検（本町山中有料道路・逗葉新道）を実施します。

2 有料駐車場事業

各駐車場の立地特性や利用者の要請に合わせ、引き続き利用促進を図り、着実に事業を進めます。

3 神奈川県からの受託事業

真鶴道路における道路施設の防災、長寿命化対策として、従前から進めているトンネル大規模修繕工事（はく落防止等）を平成 29 年度も引き続き実施し、安全度の向上を図ります。

4 長期借入金の償還

道路建設に係る国及び県等からの長期借入金を着実に返済します。

5 中期経営計画の取組み

(1) 安全・安心な施設・設備の整備

平成 26 年度に策定した「路線別維持管理計画」と「個別長寿命化計画」により見直しを行った道路施設等維持修繕 5 か年計画に基づき、引き続き計画的な補修及び効率的な維持管理に取り組めます。

(2) 地域と連携した利用促進策の推進

平成 27 年度に伊豆・箱根・西湘地区の有料道路会社 7 社により立ち上げた当公社も参画する利用促進連絡協議会を通して、今年度も引き続き西湘、箱根、伊豆地域におけるスタンプラリーの開催や、県や地元自治体と連携して、地元観光施設等との提携を進めることにより有料道路の利用促進を図ります。

(3) お客様へのサービスの充実

逗葉新道のお客様用トイレの改修・改装を行いサービスの強化に努めます。

また、公社ホームページのリニューアルによる情報提供の充実や、逗子海岸駐車場の料金精算機を Suica 等交通系電子マネー対応機種に入替し、サービスの向上を図ります。

(4) 経営改善

当公社作成の「広域ドライブマップ」に加え、昨年度に引き続き、「首都高ドライブ MAP」への広告掲載など、複数媒体による広報活動の継続や、地元観光施設とタイアップしたイベントを開催し、利用促進による増収を図ります。

平成29年度予算の特徴

1 安心安全な施設・設備の充実

(単位:千円)

(1) 耐震補強、災害・緊急時対策 (205,321)

耐震補強、災害・緊急時対策については、路線毎に計画的に実施しているところです。
平成29年度は、真鶴道路において次のような対策を実施してまいります。

真鶴道路

- ア ポンプ排水設備更新工事(6基中2基更新)
- [新] イ 遠隔閉鎖システム工事
- [新] ウ 消火栓更新工事
- エ 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)【受託】

(2) 事故等の防止対策 (25,380)

安全な道路交通を確保するために、次のような事故等の防止対策を実施してまいります。

真鶴道路

- ア トンネル側溝改修工事
- 三浦縦貫道路
- ア 橋梁伸縮装置補修工事

(3) 道路の走行環境の維持・向上 (67,323)

快適な走行環境の維持及び向上のために、次のような補修工事をしてまいります。

真鶴道路

- ア 安全施設等取替工事
(既設標識、既設標識支柱交換)

本町山中有料道路

- ア 舗装補修等工事

三浦縦貫道路

- [新] ア 道路照明灯更新工事
- [新] イ 小型道路情報板設置(久里浜田浦線)工事

(4) 長寿命化対策等 (447,824)

平成27年度に策定した道路維持管理計画、長寿命化修繕計画に基づき、次のような長寿命化対策等を実施してまいります。

真鶴道路

- [新] ア 受配電設備(東換気所)更新等工事【債務負担行為】
- [新] イ トンネル換気設備分解整備工事
- ウ 新吉浜橋塩害対策補修工事
- エ 換気設備集塵機修繕工事(東換気所)
- オ 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)【受託】 [[再掲]]
- カ ポンプ排水設備更新工事(6基中2基更新) [[再掲]]

各道路での定期点検の実施

- [新] ア 橋梁点検業務委託
(本町山中有料道路、三浦縦貫道路、真鶴道路、逗葉新道)
- [新] イ 標識点検業務委託(本町山中有料道路、逗葉新道)

2 地域と連携した利用促進策の推進

(単位:千円)

(1) 地元自治体との連携 (6,067)

地元観光案内を掲載した広報活動を行います。

- ア 当社制作の広域ドライブマップによる広報活動
(神奈川東部、西湘・伊豆)
- イ 一般媒体による広報活動
(首都高ドライブMAP、地元市町広報誌)

3 お客様へのサービスの充実

(単位:千円)

(1) 道路休憩施設等の整備 (9,426)

利用者が快適に過ごしていただけるよう休憩施設の整備を実施してまいります。

- [新] ア 逗葉新道 トイレ棟の改修等
- [新] イ 逗葉新道休憩施設 横断幕用スポットライト照明等電気工事

(2) 利用者へのサービスの充実 (3,763)

利用者により一層便利に、また安全に安心して利用していただくため、次のようなサービスの提供をしてまいります。

- [新] ア ホームページ リニューアル
(情報提供の充実、動画配信機能の付加、利用申込の受付等)
- [新] イ 逗子海岸駐車場 精算機をSuica等交通系電子マネー対応機種に入替(5年リース)
- [新] ウ 逗葉新道 案内板(休憩施設・トイレ等の表示)の設置

4 経営基盤の強化

(単位:千円)

(1) 増収対策 (10,067)

道路関連事業者や地元と連携した各種利用促進対策を実施し、事業収入を確保してまいります。

- ア 有料道路4路線における利用促進事業
(スタンプラリーや地元と連携したイベント等)の拡大
- イ 当社制作の広域ドライブマップによる広報活動 [[再掲]
(神奈川東部、西湘・伊豆)
- ウ 一般媒体による広報活動 [[再掲]
(首都高ドライブMAP)

平成29年度 神奈川県道路公社事業計画

平成29年度における神奈川県道路公社の事業計画は、次のとおりとする。

管理計画

(1) 一般有料道路

(単位:千円)

管 理 区 間	供用開始日	本年度予定収入 (1日当たり通行台数)	延長	備考
本町山中有料道路 横須賀市汐入町1丁目～横須賀市山中町	平成4年3月21日	595,805 (7,707台)	2.6km	道路整備特別措置法第10条第1項に基づく道路
三浦縦貫道路(三浦サンサンライン) 横須賀市衣笠町～横須賀市林5丁目	平成12年3月4日	485,189 (4,453台)	4.7km	同 上
真鶴道路(真鶴ブルーライン) 足柄下郡湯河原町吉浜～足柄下郡真鶴町岩	平成20年9月4日	695,299 (9,963台)	4.5km	道路整備特別措置法第15条第1項に基づく道路

(2) 一般自動車道

(単位:千円)

管 理 区 間	供用開始日	本年度予定収入 (1日当たり通行台数)	延長	備考
逗葉新道 逗子市沼間5丁目～三浦郡葉山町長柄	昭和45年4月1日	410,804 (11,255台)	2.1km	道路運送法第47条第1項に基づく道路

(3)駐車場

(単位:千円)

事業箇所名	供用開始日	本年度予定収入
(公社保有資産の運用)		
1 汐見高架橋駐車場	平成4年4月16日	6,333
2 林高架橋駐車場	平成12年9月1日	8,187
3 上の里高架橋駐車場	平成13年1月1日	907
4 小矢部駐車場	平成21年6月1日	962
5 西逸見駐車場	平成21年9月1日	863
(借用資産の活用)		
1 寒川駐車場	昭和53年7月1日	10,349
2 長者ヶ崎駐車場	昭和54年8月6日	14,779
3 稲村が崎駐車場	昭和57年7月1日	19,083
4 滑川駐車場	昭和57年7月1日	1,710
5 大仏前駐車場	昭和57年9月1日	21,153
6 下浦海岸駐車場	昭和58年7月15日	27,270
7 下浦駐車場	昭和58年7月15日	614
8 津久井駐車場	昭和58年7月15日	4,792
9 吉浜橋駐車場	昭和61年2月25日	97,310
10 材木座駐車場	昭和61年7月1日	22,379
11 逗子海岸駐車場	昭和62年6月15日	20,861
12 森崎大橋駐車場	平成15年10月1日	4,134
13 坂ノ下駐車場	平成23年1月1日	2,721
14 旭駐車場	平成23年4月1日	17,055
合 計		281,462

(4)受託業務

業 務 名	業務内容	本年度予定収入
真鶴道路 大規模修繕等事業	道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)	85,000
合 計		85,000

平成29年度 神奈川県道路公社予算

予 算 総 則

(収入支出予算の総額)

- 第1条 神奈川県道路公社(以下「公社」という。)の平成29年度 収入支出予算総額は、収入については 2,616,712千円、支出については 2,880,188千円と定める。
- 2 収入の性質別の款項の区分及び支出の目的別の款項の区分は、別紙「収入支出予算」による。

(債務負担行為)

- 第2条 公社が平成29年度において、債務を負担することができる事項、限度額及び年限を次のとおりとする。

(事項)真鶴道路 受配電設備(東換気所)更新等工事

公社は、真鶴道路 受配電設備(東換気所)更新等工事のため、172,800千円を限度として平成29年度及び平成30年度において公社の負担となる契約を、平成29年度において結ぶことができる

(予算の弾力条項)

- 第3条 公社以外の者の負担に係わる下表の左欄に掲げる収入科目の金額が予算額に比して増加するときは、その増加する金額を限度として下表の右欄に掲げる支出科目に必要な経費の支出に充てることができる。

収入科目	支出科目
「業務雑収入」のうち原因者負担金	「原因者負担補修費」
「受託業務収入」	「受託業務費」

(特定預金に係る弾力条項)

- 第4条 次に掲げる事項については、平成28年度決算において確定する事項別の特定預金を限度として下表の左欄に掲げる収入科目及び下表の右欄に掲げる支出科目の増額に充てることができる。

収入科目	支出科目
「退職給付特定預金収入」	「退職手当」
「有事用準備資金特定預金収入」	「維持改良費」及び「業務管理費」

(予算の流用)

- 第5条 次に掲げる経費は、地方道路公社法施行規則(昭和45年建設省令第21号、以下「施行規則」という。)第13条第2項に規定する予算で指定する経費とし、これらの経費の金額を相互間に流用し、又は他の経費をこれらの経費の金額に流用し、若しくはこれらの経費の金額に予備費を使用する場合は、神奈川県知事(以下「知事」という。)の承認を受けなければならない。

(項) 役職員諸給与

(項) 交 際 費

(予算の繰越)

- 第6条 次に掲げる経費は、施行規則第14条ただし書に規定する予算で指定する経費とし、これらの経費の金額を繰り越して使用する場合は知事の承認を受けなければならない。

(項) 役職員諸給与

(項) 交 際 費

(役職員諸給与の制限)

- 第7条 この予算の範囲内であっても、役職員の定員及び給与をこの予算において予定した定員及び給与の基準をこえてみだりに増加し、又は支給してはならない。

平成29年度 収入支出予算

(単位:千円)

収 入	予 算 額	支 出	予 算 額
(款)業務収入	2,554,984	(款)業務費	82,852
(項)一般有料道路料金収入	1,776,293	(項)受託業務費	82,852
(項)一般自動車道料金収入	410,804		
(項)駐車場料金収入	281,462	(款)維持改良費	729,234
(項)業務雑収入	1,425	(項)一般有料道路維持改良費	676,422
(項)受託業務収入	85,000	(項)一般自動車道維持改良費	46,922
		(項)駐車場維持改良費	5,890
		(款)業務管理費	571,350
		(項)一般有料道路管理費	292,720
(款)業務外収入	61,728	(項)一般自動車道管理費	124,916
(項)利息収入	1	(項)駐車場管理費	153,714
(項)雑収入	38,430		
(項)共済立替金(県)	5,297	(款)一般管理費	421,078
(項)退職給付特定預金収入	17,000	(項)役職員諸給与	225,601
(項)有価証券償還収入	1,000	(項)管理諸費	195,317
		(項)交際費	160
		(款)業務外支出	1,070,674
		(項)市中銀行等借入金取扱諸費	1,056,286
		(項)資産購入費	1,000
		(項)雑支出	13,388
		(款)予備費	5,000
収 入 合 計	2,616,712	支 出 合 計	2,880,188

収 支 差 △263,476

※収支差については、前年度からの繰越金を充当する。

平成29年度 資金計画

(単位:千円)

払 出		受 入	
区 分	金 額	区 分	金 額
業務費	82,852	前事業年度から繰越(※1)	731,794
受託業務費	82,852	業務収入	2,554,984
維持改良費	729,234	一般有料道路料金収入	1,776,293
一般有料道路維持改良費	676,422	一般自動車道料金収入	410,804
一般自動車道維持改良費	46,922	駐車場料金収入	281,462
駐車場維持改良費	5,890	業務雑収入	1,425
業務管理費	571,350	受託業務収入	85,000
一般有料道路管理費	292,720	業務外収入	61,728
一般自動車道管理費	124,916	利息収入	1
駐車場管理費	153,714	雑収入	38,430
一般管理費	421,078	共済立替金(県)	5,297
役職員諸給与	225,601	退職給付特定預金収入	17,000
管理諸費	195,317	有価証券償還収入	1,000
交際費	160		
業務外支出	1,070,674		
市中銀行等借入金取扱諸費	1,056,286		
雑支出	13,388		
資産購入費	1,000		
予備費	5,000		
翌事業年度への繰越(※2)	468,318		
払 出 合 計	3,348,506	受 入 合 計	3,348,506

※1、※2 有事用準備資金特定預金600,000千円を除く。

(予算添付書類)

平成29年度 予定貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産	786,537	流動負債	1,376,352
現金・預金	468,318	未払金等	424,847
未収金等	318,219	一年内返済予定長期借入金	937,000
		賞与引当金	14,505
固定資産	38,484,025	固定負債	3,133,361
事業資産	37,508,276	長期借入金	2,960,000
道路	38,463,060	退職給付引当金	167,861
道路減価償却累計額	△1,063,060	長期預り金	5,500
駐車場	346,905		
駐車場減価償却累計額	△238,629	特別法上の引当金等	13,304,246
有形固定資産	203,143	道路事業損失補填引当金	2,431,046
建物	39,127	償還準備金	9,515,653
建物付属設備	28,460	特別道路管理準備金	1,357,547
構築物	13,313		
工具器具及び備品	19,941	(負債合計)	17,813,959
機械及び装置	18,930		
土地	128,382	基本金	10,781,000
有形固定資産減価償却累計額	△45,010	出資金	10,781,000
無形固定資産	1,258		
投資その他の固定資産(※)	771,348	剰余金	10,675,603
		準備金	10,412,966
		当期利益	262,637
		(資本合計)	21,456,603
合 計	39,270,562	合 計	39,270,562

※ 有事用準備資金特定預金600,000千円、退職給付特定預金167,861千円を含む

平成29年度 予定損益計算書
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
管理業務費	1,428,046	業務収入	2,469,984
一般有料道路管理業務費	1,057,664	一般有料道路料金収入	1,776,293
一般自動車道管理業務費	192,562	一般自動車道料金収入	410,804
駐車場管理業務費	177,820	駐車場料金収入	281,462
一般管理費	273,476	業務雑収入	1,425
諸減価償却費	449,862	受託業務収入	85,000
償還準備金繰入額	438,189	業務外収入	43,729
駐車場減価償却費	6,325	利息収入	2
固定資産減価償却費	5,348	雑益	43,727
諸引当損	113,478	特別利益	62,835
道路事業損失補填引当金繰入損	100,092	特別道路管理準備金取崩	62,835
退職給付引当金繰入	13,386		
受託業務費	85,000		
業務外費用	44,049		
支払利息	44,047		
雑損	2		
予備費	5,000		
当期利益	262,637		
合 計	2,661,548	合 計	2,661,548